

三鷹市における観光・文化芸術資源を利用した  
【ヘルスツーリズム×ソーシャルアートビュー】の革新的な取組み

## 1 取組の目的・全体像

### (1) 目的

ア 関係人口を増やし、地域振興や地域住民（市民）とのコミュニケーション促進に寄与し、緩やかなネットワークをつくる。

イ アート&ヘルスツーリズムのプログラムの創造をおこない活動の担い手を形成する。

### (2) 全体像

講義およびモニターツアーによるワークショップで市民協働のアイデアを盛り込み、新プランを開発する。そして主催者と市民とのアクションサイクルを構築する。

### (3) DAY 1（講義・演習）

ヘルスツーリズムおよび対話型鑑賞、ソーシャルアートビューの講義およびコースプランニングワークショップ

日 時：2022年12月11日10時～15時

参加者：15名 場所：三鷹産業プラザ7階

### (4) DAY 2（トライアル、ふりかえり）

DAY 1で作成したコースをもとにしたトライアルコースの実施によるトレジャーハンティング、その後マチコエ会議室にて振り返り

日 時：2023年1月22日10時～15時

参加者：20名

場 所：三鷹駅集合～太宰治文学サロン～井心亭～山本有三記念館～井の頭自然文化園（彫刻館）～マチコエ会議室

## 2 取組のポイント

(1) ヘルスツーリズム、対話型鑑賞、ソーシャルアートビューの概念について初心者にもわかりやすい基礎講義をこころがけた。

(2) 事務局側で一方向的にコースを選定するのではなく、三鷹市の観光資源を活用し、参加者と協働で行った。

(3) 太宰治文学サロン、山本有三記念館でテーマに沿ったガイドを館内スタッフにお願いし、いままで気がつかなかった魅力を引き出した。

(4) DAY 2では安全のためボランティア保険に加入。事前に事務局でコースの安全性、トイレの場所など下見を行い、実施の際には前後、真ん中にスタッフを配置した。

(5) 初めての参加者がコミュニケーションをとれるように対話を重視。

(6) 2日間という日程にもかかわらず、定員をオーバーする参加申し込みがあった。

(7) みたか都市観光協会により、観光パンフレットをご提供いただいた。

(8) 三鷹市の鷹狩の歴史と PR を兼ね、参加者目印にたかじょうくんバッチを利用。

### 3 取組の成果

アート&ヘルスツーリズムプログラムの作成ワークショップと実践を体験

#### (1) DAY 1

アンケートより抜粋

- ・実践を含め理論とともに参加型で楽しめた。
- ・ソーシャルアートビューでアイマスクをしての鑑賞体験は初めてでした。「晴眼者」役のときも絵画を言語化して伝えるのが難しく、とても良い体験でした。
- ・ヘルスツーリズムのプランニングを初めてし、複数人で対話すると想像以上のアイディアが出て、共同ワークする楽しさを体験しました。

#### (2) DAY 2

振り返りコメントより抜粋

- ・普段から知っている場所や施設に行ったが、一人で行ってもよく見ずに通りすぎてしまっていた。改めてグループで行く良さを感じた。町を VTS (対話型鑑賞) している気分だった。
- ・ゆったり無理なく適切な時間配分の典型的なコース。ストーリー性と食事を付加できればさらに良いと思う。



井之頭自然文化園（彫刻館）での対話型鑑賞 アートカードを利用したワークショップ

### 4 次年度以降の取組について

今後の展望・現状の課題

- ・初めての実践ということで、基本的なコースを作成したが、三鷹市の観光資源を利用したコースは、複数コースをプランニングすることが可能である。
- ・実施時期が真冬であったため、春か秋の歩きやすい時期が望ましい。
- ・既存の施設を利用することができるため、省スペースで実施できる。
- ・対話型鑑賞、ソーシャルアートビューのファシリテーターを増やしていく必要が

ある。

- ・小学校・中学校での体験活動や地域探求にも利用できると考えており、教育現場での研修に活用できないか検討している。
- ・今回は対象が社会人とシニア向けを対象にしたので、次回は小中高生別に教員及び学生にむけて VTS（対話による絵画鑑賞）や SAV（目の不自由な方と共にこころの目でみる対話型鑑賞スタイル）を行いたい。

<取り組みの報告を受けた選考委員会からの主な意見（助言等）>

- ・取り組みの成果を三鷹のまちづくりに還元できるように、今回の取り組みに関わってくれた事業者に協力してもらえそうな関係性を築いていってもらいたい。三鷹市内でアート系の活動やツーリズムに関心があり活動されている方たちとの連携や情報共有を図り、成果が共有されるような方策を考えていくと良いと考える。
- ・「ヘルスツーリズム×ソーシャルアートビュー」をどうするかという位置付けがあった方がわかりやすい取り組みになると思われる。例えば、「～を作っていく」「～を感じていく」などのような形もある。
- ・今回は、2日間に様々な要素を凝縮して取り組まれたが、要素ごとに2時間ほどの活動を複数の日程で実施することも良いかもしれない。
- ・今回の参加者からの意見を踏まえて今後の取り組みを考えていくことが良いと思われる。一方で、この分野は非常に広がりのある分野であるため、取り組む内容についてはメンバーで絞り込んでいくプロセスを入れるなど、話し合っていくことが必要と思われる。
- ・今回のようなテーマでは、近隣大学の学生との連携を行っていくことも有効である。